

課目名	関係法規・制度					
課目名(英)						
単位数	1	時間数	30時間	担当者	湊 啓史	
実施年度	2021年	実施時期	後期	担当者実務経験	行政書士歴9年(現職)	
対象学科・学年	美容科 1年					
授業概要	美容業界の関係法規・制度を理解し、過去問を中心とした復習を行い、国家試験合格を目指す。					
授業形式	講義:	○	演習:		実習:	
				実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					法制度の概要(社会生活における法の役割、法の形式等)を説明することができる。
	○					衛生行政の概要を説明することができる。
	○					美容師法並びに施行規則を説明することができる。
	○					関連法規(運営・衛生)に関する法律を説明することができる。
テキスト・教材 参考図書	関係法規・制度の教科書 過去問演習					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	法制度の概要 社会生活における法の役割 法の形式				教科書の該当範囲を予習しておくこと
	2	衛生法規の概要 衛生行政の意義と歴史				教科書の該当範囲の予習と前回の復習
	3	衛生行政の分類と生活衛生行政の内容 衛生行政を担う行政機関				教科書の該当範囲の予習と前回の復習
	4	美容師法 目的と用語の定義				教科書の該当範囲の予習と前回の復習
	5	美容師に関する規定 その1(養成施設、試験、免許と登録)				教科書の該当範囲の予習と前回の復習
	6	美容師に関する規定 その2(義務)				教科書の該当範囲の予習と前回の復習
	7	美容師に関する規定 その3(業務停止と免許取り消し)				教科書の該当範囲の予習と前回の復習
	8	美容師に関する規定 その4(管理美容師の職務・資格)				教科書の該当範囲の予習と前回の復習
	9	美容所に関する規定				教科書の該当範囲の予習と前回の復習
	10	立入検査と環境衛生監視員 違反者等に対する行政処分				教科書の該当範囲の予習と前回の復習
	11	美容師法の罰則				教科書の該当範囲の予習と前回の復習
	12	関連法規 その1(美容業の運営に関連する法律)				教科書の該当範囲の予習と前回の復習
	13	関連法規 その2(美容業の衛生と消費者保護に関連する法律)				教科書の該当範囲の予習と前回の復習
	14	国家試験対策 過去問題を解く				過去問や重要ポイントを総復習
15	国家試験対策 過去問題を解く				過去問や重要ポイントを総復習	
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する (2) 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	◎				

履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

課目名	ヘアテクニック(ヘアカラー)						
課目名(英)	HAIR TECHNIQUES (HAIR COLOR)						
単位数	6単位	時間数	180時間中の10時間	担当者	森・山之口・廣上		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	美容師として勤務		
対象学科・学年	美容科 1年生						
授業概要	ヘアカラーの塗布、ホイルワークの仕方やボディスタンスなどの基本の技術を身に付け、就職後の即戦力になるよう、実習を交えながら習得する。						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			自らカラー商材、テクニックを選び、2つ以上のデザインを使って施術することができる。	
	○					毛髪の種類と特徴を踏まえ、施術内容を説明する事ができる。	
	○					染毛剤の種類と特徴を踏まえ、髪の状態で判断し施術を提案することができる。	
		○				助言がなくてもモデルの髪質に合わせた、ダメージに合わせたデザインを提案できる。	
テキスト・教材 参考図書	・日本理容美容教育センター出版 美容技術理論1 ・ロレアルカラーテキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	酸化染毛剤①・・・ヘアカラーリング概論				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	酸化染毛剤②・・・トレーニングクリームでの塗布練習				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	相モデルカラー実習に向け練習・・・トレーニングクリームでの実技テスト				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	相モデルヘアカラー・・・相モデルでのアルカリカラー実習				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	相モデルヘアカラー・・・相モデルでのアルカリカラー実習				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
評価方法	(1)実技テストを実施する。 以上を下記の観点で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技テスト		○	○			100%

履修上の注意	カラー剤の使用上の注意に従い、実習では施術を実施を行う事。						

課目名	デザイン【デッサン】						
課目名(英)							
単位数	2	時間数	8	担当者	仲真市		
実施年度	2021	実施時期	後期	担当者実務経験	美術作家歴30年(活動中)		
対象学科・学年	美容科1年						
授業概要	線の基本的要素から始まり、明暗・陰影の現象を再認識することで、形とボリュームの捉え方を学び、また、色彩学の基礎を理解させることで美容業のカラー、メイクアップとの関連付けができ、より深い知識が備わる。デッサンを通して美を追求する力と感性を育む。それらは就職その後の成長時に大きく寄与する。鉛筆を用いて線描・優美な線の表現を身につける。濃淡による陰影表現・眼で得る情報を分析し再構築して画面に表現する。視る力は感性を通して手技の身体能力たる描写力に直結する。逆に描・写力養成は感性を育む。感性は手仕事、表現に必須である。絵具と筆を用いて色彩効果を学習し、人物が備える色彩を混色で的確に表出する。色彩が量感、空気感をも表現することを各々感得することを旨とする。ちょっとした違いに気付くことが大切、ちょっとした差が「凡庸」と「非凡」の大差である。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			形体の構造、陰影、立体感を表現できる	
			○			角度と奥行き、空間の意識が表現できる	
			○			顔と頭部の比率、骨格による陰影を表現できる	
			○			画材によるグレースケールの表現で色彩の明度感覚を描写できる	
テキスト・教材 参考図書	必要に応じてA4印刷物、A4画用紙を配付。デッサン道具一式。						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	線描、かたちのとらえかた			演習する配付物、制作する作品を丁寧に期日までに仕上げる。		
	2	円と球体			演習する配付物、制作する作品を丁寧に期日までに仕上げる。		
	3	人物モデルデッサン			演習する配付物、制作する作品を丁寧に期日までに仕上げる。		
	4	人物モデルデッサン			演習する配付物、制作する作品を丁寧に期日までに仕上げる。		
	5	ヘアモデルイラストレーション			演習する配付物、制作する作品を丁寧に期日までに仕上げる。		
	6	ヘアモデルイラストレーション			演習する配付物、制作する作品を丁寧に期日までに仕上げる。		
	7	ヘアモデルイラストレーション			演習する配付物、制作する作品を丁寧に期日までに仕上げる。		
	8	人物デッサン			演習する配付物、制作する作品を丁寧に期日までに仕上げる。		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)各回で演習する配付物、制作する作品を丁寧に仕上げる。(2)提出日時に提出する。(3)態度・意欲に関しては、作品の完成度・観察力・技量・集中力・思考力によって評価する。下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						
	小テスト						
	宿題・レポート						
発表・作品			◎	○		100%	

履修上の注意	提出物(毎回×切)+無遅刻無欠席						